

日刊みなと新聞

11月10日 水曜日
2010年 (平成22年)

発行所
みなと山口合同新聞社◎
〒750-8506 下関市東大和町1丁目1-7
☎083(266)3214 土曜・日曜・祝日休刊

ブリミー(熊本県天草市、濱忠臣社長)は9日、都内の東京ビッグサイトで開かれた「地方銀行フードセレクション2010」に出展。生産する完全養殖クロマグロブランド『天空まぐろ』の国内初お披露目を行った。マグロは近畿大が生産した稚魚を3年かけ天草で育てたもの。今後は天草の養殖イケスを13基に増設し、3年後の1万本出荷を目指す。

展示した完全養殖クロマグロは43匹。「天空まぐろ」の名称由来を濱隆博取締役は「天草の海で育ち、世界中の空を飛び回るという願いを込めて名付けた」と説明する。

出展の目的は新ブランドの紹介だけでなく、「完全養殖マグロの認知向上」(濱取締役)。世界的なマグロ需要が伸長する中、クロマグロの資源は厳しい状況。「このままいくとマグロが食べられなくなる」(同)。状況を打開するためにも持続的な完全養殖技術が欠かせない。「天然

完全養殖「天空まぐろ」国内初お披露目

ブリミー 3年後、1万本出荷目指す

クロマグロは減ること、マグロ消費促進を展開はあっても増えること。「もともとマグロをあまり考えにくい。技術のまり食べない地域。認知度が低いのでこのまま機会を得て地元の場所ですっかり元消費の促進にも取り広めていきたい」と濱組んでいく(同)

取締役強調する。先月8日には米国・来場者から「天空まぐろ」の評価は上々。鉄人、森本正治シエフ商社、小売を中心に注目のイベントに「天空まぐろ」を集めた。今後は従来の販売にこだわらなびのチケットが完売すい販売展開を模索。今人気で、環境先進国までない魚の売り方の米国でも高い評価を同時に地元熊本でのマ



初お披露目となった「天空まぐろ」